

平成25年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立串本古座高等学校串本校舎

学校長：安岡 勝彦

目指す学校像 育てたい生徒像	豊かな心と確かな学力を身につけ、礼儀を重んじ、個性の伸長をはかることで、地域や社会の形成者として貢献できる人間を育成する。
-------------------	---

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	1 キャリア教育を中核とした指導の充実
	2 基本的生活習慣の確立と基礎学力向上
	3 自主活動の活性化
	4 防災教育、ESD等の取組を柱とする地域との連携

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善の方策の公表の方法
育友会総会等を通じて保護者に結果を知らせるとともに、本校HPにおいも公表する。

自 己 評 価					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
重 点 目 標					評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 方 策
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 取 組	評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 方 策
1	大学等進学についても一定の成果をあげ、就職率も6年連続してほぼ100%を達成している。 しかし、個々の進路実現に向けた取組意欲は低く、自主的・創造的な行動や意図的・計画的な取組が少ない。	3年間を見通した系統的なカリキュラムおよび授業内容となっているか。 生徒の自己確立を促し、自らの将来を見据えることができる力をつけているか。	・生徒個々に応じた学力向上を図り、生徒の進路実現に結びつける。 ・個人面談や保護者面談によるキャリアカウンセリングの実施。 ・インターンシップなど社会体験をする機会の設定。	・校内基礎学力テストおよび各種補習の実施。 ・サテライト講座の開講。 ・三者面談の実施。 ・就職主任、就職支援相談員との面談。 ・学習合宿、インターンシップの実施。	基礎学力テストを参考に授業改善を行った。また、年間を通じて補習を行い、サテライト講座も活用したが、学力の底上げには結びつかない面もあった。三者面談についてはそれぞれの担任が進路、生活全般にわたり保護者と連絡をとりあい実施した。就職内定率は100%達成。1年生全員が2日間の就業体験を実施した。また、1.2年とも希望者を対象に学習合宿を実施し、進路意識を高めた。	B	・授業規律確立のため教職員、生徒がチャイム着席や教室等の環境整備のさらなる徹底を行い、授業の開始についても工夫を行う。 ・学力向上に向け、プロジェクトチームを作り、組織的に学び直しの機会を作ることで教師個人による経営から組織的取組へと転換を図る。 ・進路情報を必要に応じて保護者にも提供する。
2	授業態度は比較的落ちているものの生徒の学力差は大きく、特別な支援が必要なく、生徒も少なからず在籍する。進路志望も多様である。	課題の多い生徒への個別指導、及び生徒の関心意欲を高める授業の工夫ができているか。 家庭での学習時間確保等の具体的方策が講じられているか。	・学習環境の整備。 ・研究授業等の実施による教員の授業力の向上。 ・生徒による授業評価を授業改善に生かす具体策の検討。	・生徒が学びやすい環境が整備されているか。 ・年1回の研究授業の実施と研究協議の実施。 ・全教員が生徒による授業評価実施と現職教育。	生徒が学びやすい学習環境を整備するという事で教室や校外の掃除や美化に取り組んだが、教室の清掃には課題を残した。全教員1回以上の研究授業、授業見学を行ったが、研究協議の充実には至らなかった。生徒による授業評価については87%が分かりやすい授業を行っていると言っている。	B	・学びやすい環境作りとかかわって生徒、教職員が一つになり、校内や教室の美化を徹底する。 ・よくわかる授業づくりの指導方法等について、教職員間の共通理解を図る必要がある。研究授業や実施後の合同協議についても多くの教職員が参加し、指導の改善につなげる。
3	学校の様々な場面でまじめに取り組む生徒が多いものの、生徒自身が自分たちの手で学校を作りあげていくという意識をどのように涵養していくかが課題である。	自ら課題を発見し、必要な情報を集め、その課題を解決するという経験をし、物事を考える自主的な能力を養えたか。	・毎朝の校門指導。 ・定期的な服装、頭髪点検。 ・指導票による身だしなみ指導。 ・定期的な駅(列車)指導。 ・授業開始時に行う身だしなみ指導。	・指導強化週間等による重点指導の実施。 ・服装、頭髪点検時に指摘される生徒の減。 ・特別指導件数の減。 ・生徒会による様々な企画が充実しているか。 ・体育祭、文化祭の内容が充実しているか。 ・各クラブの活動が学校の活性化につながったか。	全国防災会議(東京)出席を契機として生徒会の中から自主性が生まれ、全校生徒対象の防災学習の中で自分たちに出来る5つの提言を行った。体育祭、文化祭ともに地域の人が多く参加し、盛況であった。弓道部(個人)、商業部が全国大会決勝に進出し、陸上競技部が近畿大会出場を果たした。	A	・本年度、地域へのボランティア活動等、生徒の自主的な活動が見られた。これを次年度は生徒全体の活動へと裾野を広げていきたい。 ・生徒会、学校行事、クラブ活動をはじめとして、保護者、地域と連携しながら、社会性や規範意識を身につける機会をより多く設ける。
4	地域の自然、特徴を生かした総合学習を推進しているものの、生徒全体の自主的、創造的な取組となりにくい面がある。	生徒の課題意識を高め、個の活動から集団の活動へ繋がる指導ができたか。	・防災教育を通して生徒の「自助、共助、公助」の意識を高める。 ・「ESD」「世界遺産教育」等に取り組むことにより、自己確立を促す。	・学期に1回の防災訓練や防災研修の実施。 ・地域や小中学校と連携した防災訓練の実施。 ・総合的な学習の時間、修学旅行事前指導の活用。	防災訓練、学習を毎月実施した。串中、地域住民、町役場4者合同避難訓練を初めて実施した。総合的な学習の時間、修学旅行事前指導等を活用しての「ESD」「世界遺産教育」については、教職員の肯定的評価が70%と低く、一考を要する。	B	・防災教育について、今後、地域との連携を含め、生徒がより主体的に取り組める内容の充実を図る。 ・「ESD」「世界遺産教育」を通じてグループでの活動や発表を行い、個の活動から集団の活動へ繋がる指導の工夫を図り、課題意識を高める。

学校関係者評価
平成26年1月31日 実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>◎学習指導・進路指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や部活動において先生方に熱心にご指導いただき、本人は充実した学校生活を送れたと思います。ありがとうございました。 ・学力差のある中、先生方が非常に努力されている様子がよくわかり、大変感謝しております。 ・自転車通学の多くの生徒が携帯電話等使用しながら並列通行しているのをよく見かけます。自転車の通行規則が厳しくなっているので十分注意してほしいです。 ・学校に来ると事務室前の「新聞にみる串本校舎」の記事を楽しみに見るようになりました。 ・これからも一人ひとりを大切にする学校であり続けてください。 ・運動場の設備について、ナイターの照明器具が野球部側の半分しか設置されていないので、運動場全体を照らせるよう、また、グラウンドの改修を早急にしていただけたらようお願いいたします。 <p>◎その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域的なこともふまえて、より一層特色をいろんな形でPRしていただければと思います。 ・もっと部活に力を入れてもらって地元の子が地元でスポーツをしたいと思えるような学校になればいいなあと思います。地元の子が野球やバレーをするためによその学校に行ってしまうのは残念です。何か特色のある学校にしてほしいです。